



両津中学校だより

No.96

TEL : 0259-27-2185

FAX : 0259-27-2186

E-mail : ryoutsu-js@sado.ed.jp

令和5年3月27日 発行

教育目標「自律 躍動 協力」

巣立ちの日

第10回卒業証書授与式が3月3日(金)に行われました。今年度は来賓方からも参列していただき、卒業生の門出を祝福することができました。厳粛で凜とした素晴らしい式になりました。



卒業式 式辞

校長 嶋見 靖之

厳しい冬が過ぎ、春の足音を感じるこの頃です。本日、ご来賓の皆様そして保護者の皆様のご臨席を賜り、第10回佐渡市立両津中学校卒業証書授与式を挙行できますことに、まずもって深く感謝申し上げます。

ただいま、9か年の義務教育を修了し、両津中学校を卒業する58名に卒業証書を授与しました。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんは、中学校生活3年間の中でたくさんのことを学びました。物事に真剣に取り組み、仲間を大切にしてきた皆さんでした。学校生活の中で人と人のかかわりの大切さ、相手の気持ちを考え尊重することの大切さを学んでいました。

今年度は両津中学校創立10周年の節目の年でした。生徒会活動を通して、スローガン「百閃錬磨～一人一人の個性と笑顔が輝く両中～」を目指すとともに、体育祭では楽しく創造性豊かな全校ダンスを作り上げ、文化祭では学校の過去・現在・未来をつないで考え、両津中学校の新たな一歩を踏み出すエネルギーとなる取組を展開しました。そして、下級生をリードし、潤いと温もりのある、笑顔あふれる学校生活を作り出しました。立派に最高学年の役割を果たしました。このような成長を果たした皆さんです。自信をもってこれから生きてください。

今年度、皆さんは学年合唱そして全校合唱に取り組みました。「決意」という合唱曲です。この曲の歌詞は司馬遼太郎という小説家が書いた「二十一世紀に生きる君たちへ」という文章をもとにしています。この文章には歴史から学んだ人間の生き方の基本的なことが綴られています。1つは、自然によって生かされている。この自然への素直な態度こそ二十一世紀への希望である、ということです。もう1つは、自分に厳しく、相手には優しく、そして素直で賢い自己を確立すること。さらに、いたわりの気持ちをもち助け合って生きているということです。助け合うことは、本能ではなく訓練して身に付けるものとも述べています。文章の最後には「君たちは常に晴れ上がった空のように、高々とした心をもたねばならない。同時に、ずっしりとたくましい足取りで、大地を踏みしめつつ歩かねばならない。」とエールを送っています。「決意」という合唱曲に出会った皆さんが、この曲を未来を生きる道しるべにしてもらえたらと願います。

さらに二十一世紀は多様性が尊重される共生の時代です。これからもたくさんの人とかかわり、人の喜びや痛みに共感し、違いを受け入れられる人になってほしいと願います。

在校生の皆さん。今日で3年生とはお別れです。寂しくなりますが、これからは皆さんが両津中学校を作っていきます。活躍を期待しています。

卒業生の皆さん。皆さんを励まし支えてくれたご家族や仲間、先生方や地域の方々への感謝の気持ちを忘れず、両津中学校で学んだことに自信と誇りをもってそれぞれの新たな一歩を踏み出し、人生を歩んでください

結びに、卒業生の皆さんの健康とますますのご活躍、そして洋々たる前途に幸多からんことを祈念し式辞といたします。

送 辞

在校生代表 2年B組 市橋 さん

長く厳しかった冬が過ぎ、頬を伝わる柔らかな風に、春の訪れを感じる頃となりました。この佳き日に両津中学校を卒業される58名の3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今皆さんは、中学校での3年間でどのように振り返っていらっしゃるのでしょうか。

2年前、私たちは新しい校舎と違う小学校からの仲間に戸惑い、緊張しながら中学校に入学しました。そんな私たちを、先輩方は温かく迎え入れてくださいました。そのおかげで緊張が和らぎ、これからの中学校生活が楽しみに変わったことを思い出します。

先輩方は様々な面で私たち後輩のお手本となり、親切にリードしてくださいました。部活動では、技術だけでなく、礼儀やマナーなど、たくさんのご指導をいただきました。普段は優しい先輩方ですが、時には厳しく教えてくださることもありました。先輩方の、楽しんで活動する姿や、全力で練習に励み、仲間と励まし合いながら勝利を目指す姿に憧れ、私たちもその背中を追いかけてきました。先輩方が見せてくださった姿を、私たちも後輩に見せられるようにこれから頑張ります。

委員会活動でも、3年生の皆さんは自分たちの仕事に責任をもち、両津中学校を良くしていくようと、一生懸命に取り組んでいました。何が起きても臨機応変に対応する柔軟さ、中心となって委員会を引っ張るリーダーシップ。また、リーダーの人だけでなく、3年生全員が最高学年としての自覚を持ち、リーダーを支えるフォロワーシップ。大変さは表に出さず、一人一人が自分の役割を進んで行う皆さんの姿は、とても輝いて見えました。

そんな先輩方の力は行事でも発揮されていました。体育祭では、どんな時も諦めず、正々堂々と闘い、互いに応援し、喜びを分かち合う姿に胸を打たれました。また、文化祭の合唱コンクールでの、心を一つにしたクラス合唱「友～旅立ちの時～」と「YELL」。どちらもとても美しく、力強い歌声に私たちは圧倒されました。そして、全校合唱「～二十一世紀に生きる君たちへ～決意」。まさに未来への一歩を踏み出すような3年生の皆さんの豊かな歌声は、今でも私たちの心に響いています。

両津中学校は今年創立10周年を迎え、その節目にふさわしい、最上級生としてのあるべき姿を、先輩方は私たちに示してくださいました。これまで、先輩方が築き上げてきた両津中学校の伝統を、ここからは私たちがしっかりと引き継ぎ、さらにより良い学校にしていきたいと思えます。これから、人生の新たなスタートラインに立つ3年生の皆さんには、きっと不安や心配があることでしょう。また、目の前に立ちはだかる壁に、立ち止まってしまうこともあるかもしれません。そんな時は、この両津中学校で過ごした3年間の思い出してください。嬉しかったこと、楽しかったこと、辛くても頑張ったこと、それら全てが先輩方の力となり、どんな困難でも乗り越えていけると信じています。

皆さんの新たな一歩が光り輝き、その人生が未来まで明るく照らされますよう、在校生一同、心からお祈り申し上げます。卒業生の皆さん、今まで本当にありがとうございました。ご卒業おめでとうございます。

答 辞

第10回卒業生代表 奥野 さん

やわらかな日差しが心地よく、春の訪れを感じられる季節となりました。本日は、私たち58名のために、このような盛大な卒業式を開いていただき、誠にありがとうございます。また、お忙しい中ご臨席いただきました来賓の皆様、保護者の皆様、そして在校生の皆さんに卒業生一同、心よりお礼申し上げます。

時が経つのは早いもので、慣れない制服に身を包み、希望と不安を胸に迎えた入学式からもう3年が経ち、卒業を迎えようとしています。振り返ってみるといろいろなことがあった中学生活でした。入学したての頃は、新しい環境になじむことができず、焦り、戸惑う日々を送っていました。しかし、新しい友人ができ、先生方の優しく温かいご配慮のおかげで、毎日充実した時間を過ごせるようになり、不安な気持ちもすぐになくなっていきました。

やがて、私たちは部活動に参加するようになりました。初めは部の活動に慣れることで精一杯でしたが、顧問の先生方からのご指導を受け、同じ部の仲間と共に活動を続けていくうちに徐々に力を付けることができました。やがて学年が上がり、後輩ができて、自分たちが後輩を引っ張っていく立場になりました。その時は、自分がしてもらったようになじみやすい環境にしたり、見本となる行動ができるように心がけたりしました。そして、先輩の偉大さを改めて実感しました。また、部活動で学んだ挨拶や礼儀は今後も私たちの役に立つ財産となったと思います。

2年生になり、一番印象に残っているのは職場体験に行ったことです。訪問先の仕事を学ぶと共に訪問先から頂いたミッションを解決する課題解決型職場体験をおこないました。どの班も話し合いをおこない、アイデアを出し合って課題解決できるように取り組みました。3日間だけでしたが、働くことの大変さを知る貴重な体験となりました。

3年生になってからはすべての学校行事が強く印象に残っています。まず修学旅行です。長野・山梨方面へ行きました。特に思い出に残っているのは、2日目の富士急ハイランドです。仲間と思い切り楽しみ、友情を深めることができました。忘れられない大切な思い出です。

私は生徒会長として、さまざまな行事の企画と運営を行いました。体育祭や文化祭では、全校生徒が楽しみつつもお互いに高め合い、一人一人が活躍できる場面を作ろうとたくさん話し合いました。また、今年は両津中学校の創立10周年の年だったので、記念になるようなイベントや活動にも取り組みました。様々な行事や活動を通して、先頭に立って引っ張っていくことの大変さとやりがいを学ぶことができました。

私たちが両津中学校で学んだ3年間はとても充実し、かけがえのないものとなりました。これまで、時に厳しく、時に優しく指導して下さった先生方、どんなときも私たちと向き合い、支えてくださりありがとうございました。先生方のバックアップをいただいて創立10周年の両津中学校の年に学校生活・行事を成功することができたことをとてもうれしく光栄に思っています。私たちは今日からそれぞれが選んだ道に向かって進んでいきます。また、今まで温かく見守り、応援し続けて下さった保護者の皆様、今まで本当にありがとうございました。これから先も私たちは悩み、迷うことがあると思いますが、そのときは相談に乗り、アドバイスしてもらえると嬉しいです。これからもよろしくお願いします。

そして、これからの両津中学校を担う、在校生の皆さん、輝かしい両津中学校の伝統を大切に、新生徒会本部や専門委員長・部長を中心に、益々地域の方々に応援してもらえる新たな両津中学校を創り上げていってください。両津中学校の更なる飛躍を期待しています。

みんなで力を合わせて頑張ってきた中学校生活も今日の日をもって卒業となります。昔に戻りたい気持ちもないわけではありませんが、私たちは自分が決めた、それぞれの道に向かって進まなければなりません。3年間を共に過ごした仲間との思い出と両津中学校の生徒で

あったという誇りを胸に、更なる高みを目指し、これからどんな困難も乗り越えていきます。
最後になりましたが、中学校生活を終えて無事に卒業できますことを、改めてすべての方々に感謝し、答辞とさせていただきます。



退職・転出される先生方

(離任式 3月27日)

嶋見 校長先生（退職）

この3月で定年退職となりました。教職38年間で、この春日の丘に立つ学校で12年間お世話になりました。とりわけこの2年間は保護者・地域の皆様から多大なご協力と温かいご支援をいただき、充実した学校生活をつくることができました。ありがとうございました。

4月から再任用で引き続き両津中学校でお世話になることになりました。今後ともよろしくお願いいたします。

小川 教頭先生（佐渡市立前浜中学校へ）

人懐っこく何事も一生懸命頑張る生徒、温かく協力的な保護者や地域の方々に支えられ、歴史と伝統ある両津中学校で4年間勤務することができました。両津中学校での勤務を一言であらわすと「感謝」の言葉しかありません。4年間ありがとうございました。

萩野 先生（佐渡市立松ヶ崎中学校へ）

6年間の通級指導教室担当。両津中を離れるのが残念です。両津中が大好きでした。自分からあいさつする生徒、にっこりアイコンタクトする生徒、ひたむきに一つのことにがんばる生徒、そしていっぱい悩んでいる生徒。みんなとっても優しかったです。『悩むことは優しくなることにつながっている』そうです。どうか、自分の中の優しさに気がついて『優しさで勝負』できる人になってほしいと願っていました。今後も勝手に願っています。6年間ありがとうございました。心から感謝です。

岩崎 先生（佐渡市立高千中学校へ）

素晴らしい出会いがあり、両津中学校での生活を充実した忘れられない4年間にすることができました。授業をはじめとするいろいろな活動で、一緒に笑ったり歌ったり演奏したりする時間が大好きでした。保護者や地域の皆様からも、たくさん支えていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、両津中学校の皆さんの活躍を応援しています。ありがとうございました。

堀田 先生（佐渡市立赤泊小学校へ）

3年間、お世話になりました。両津中学校の駐車場から眺める、両津湾の景色がきれいで大好きでした。私は、学校生活の中でも、特にバスケットボール部の活動を通して多くのことを学ぶことができました。ありがとうございました。

次の学校は、11年ぶりの小学校勤務となります。新たな挑戦となります。これからも学び続けていきたいと思えます。頑張ります。

杉澤 先生（佐渡市立高千中学校へ）

この4年、両津中学校の大きな飛躍と発展を直に見ることができ、本当に幸せなことと思えます。ただ、美術担当としてもっと受賞者を出したり、多様な表現や活動を展開したり、まだまだできることがあったのではないかと反省しております。

両津中学校に関わる全てのみなさまに感謝申し上げ、離任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

小林 先生（杭州日本人学校へ）

山と海が一気に視界に入ってくる佐渡の風景が大好きでした。嬉しいことも、悔しいことも、真っ直ぐに言葉にして表現できる純粋な子どもたちが大好きでした。その子どもたちを一番に愛し、信じ続ける保護者の皆さまが大好きでした。私の人生にとって、なくてはならない3年間であったと、心から感謝いたします。大変お世話になりました。

清水 先生（佐渡市立佐和田中学校へ）

1年間、有難うございました。社会科で貿易を教える時に、「船は大きなものを運ぶことが出来るので港は、貿易、特に現在では自動車の輸出入の時にとっても重要。」と言いながら、佐渡に来るために、おっかなびっくり、初めてフェリーに乗りました。その大きさに驚きました。北前船の西廻り航路である宿根木の街並みを見て、やはり座学よりも体感だと心から思い、その佐渡の歴史に思いを馳せることが出来ました。元気いっぱいの生徒が、さらに夢いっぱい、希望いっぱいにして成長し、新しい両津を作ることが出来ることを期待しています。楽しく授業をさせてくれた生徒の皆さんに感謝です。ありがとう!! またね!!

安藤 先生（佐渡市立高千中学校へ）

6ヶ月という短い間でしたが、皆さんから声をかけてもらえて楽しい学校生活を送ることができて、また色々勉強をさせてもらいました。バレーボール部では、今までは生徒を叱ることばかりだったのですが、一緒に練習して、楽しかったです。

4月から、母校で働くことになり、嬉しい反面、とても緊張しています。一生懸命にやろうと思えます。皆さんも、一生懸命に過ごしてください。ありがとうございました。

荒木 先生（新発田市立川東中学校へ）

両津中学校で4年間、技術の先生として勤務していただきました。ありがとうございました。

左近 介助員先生（佐渡市立両津吉井小学校へ）

両津中学校で2年間、介助員として勤務していただきました。ありがとうございました。



お知らせ

両津中学校PTAには、準会員の制度があります。現在、1名の会員がおられます。多くの皆様のお力をご拝借できますようあわせてお願いいたします。